

学校教育目標	心豊かで自ら学び続けるMYキッズ				
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 進んで学習し、ねばり強く課題に取り組む子どもを育てます。 ○ 礼儀やきまりを大切に、互いのよさを認め合い、周りの人と豊かに関わる子どもを育てます。 ○ 自他の命を大切にして、心と体を鍛え、進んで健康づくりに取り組む子どもを育てます。 ○ まちを愛し、様々な関わりの中で生き方を学び、自分ができることを進んで実践する子どもを育てます。 ○ いろいろな人とのコミュニケーションを通して、違いや共通点を理解し、視野を広げられる子どもを育てます。 				
学校概要	創立 115 周年	学校長 金子正人	副校長 松比良聡夫	2 学期制	一般学級: 21 個別支援学級: 6
	児童生徒数: 691 人		主な関係校: 横浜吉田中学校 共進中学校		

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本をもとによりよく問題を解決する力 ・自分を大切にし他者と共に生きる力 ・心身ともに健やかに生きる力 ・地域のために他者と協働する力 ・多様性を尊重し共生する力 	横浜吉田中学校 本町小学校 みなとみらい 本町小学校 東小学校	自ら生きる力を養い、認め合い、協働共生し、自らを律し、 未来を切り拓き、横浜に学び、社会に貢献できる子ども ○授業参観、情報交換会、合同研究会等を実施し子ども観の共有を図り、連続性のある指導ができるようにする。 ○児童・生徒の情報交換を通して、課題の背景を共通理解し一貫性のある対応ができるようにする。 ○まちの人との交流やまちの行事に参加を促し、まちとのつながりを実感するとともに、児童・生徒間交流の機会を充実させていく。

中期取組目標	「多様性を尊重し、人やまちとのつながりを大切に作る学校にします」 <ul style="list-style-type: none"> ・学ぶ楽しさを感じながら、あきらめずにねばり強く学ぶことができるようになります。 ・自分だけでなく、友達もかけがえのない存在として尊重できるようにします。 ・健康や安全に対する関心を高め、よりよい生活習慣や運動習慣を形成できるようにします。 ・まちとのつながりを大切に、まちの一員としての自覚をもち、愛着をもてるようになります。 ・障害の有無、国籍や文化の違い等を超えて、互いの良さを認め合えるようになります。
---------------	---

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	①基礎学力の定着を図ると共に、校内研究と関連付けて語彙の習得と表現力を伸ばす授業づくりを推進する。②日常生活や社会とのつながりを意識した授業づくりを行うことで生きてはたらく知識を獲得し考える力を育む。③ICTも活用し主体的、対話的で深い学びの実現を目指す。
豊かな心	①「自分を大切にする」「友達を大切にする」を様々な教育活動の振り返りの視点として定着させ意識づけられるようにする。②子どもが認められる場面をさらに増やし自尊感情を一層高められるようにする。③道徳科の充実の一層の充実を図る。
健やかな体	①生活習慣が乱れがち子どももいることから、引き続き家庭との連携を図り望ましい生活習慣の確立に努める。②学校保健委員会での活動を継続し意識化を図る。③オリンピック・パラリンピック教育の推進を通して、運動に親しむ機会を増やし体力や運動能力の向上を図る。
児童指導	①「南吉田小学校スタンダード」の定着を図り職員が同じスタンスで指導できる体制を強化する。②児童指導全体会で情報共有し組織的な対応ができるようにする。③関係機関連携を一層充実させ、学校だけでは解決できない課題についてもアプローチできる体制づくりを進める。
特別支援教育	①個別支援学級において一人ひとりの特性に合わせた学習を展開し学力の伸長を図る。②国際教室と在籍学級との連携を充実させ日本語能力の伸長を図る③チャレンジ教室の機能を充実させ、細かいニーズに応じた学習を展開できるようにする。④放課後学習教室の開設
地域連携	①ホームページ等で積極的に広報し地域行事への参加を働きかける。②2年生商店街探検、3年生まち探検、4年生吉田新田探検等を中心にまちの魅力を発見し愛着をもてるようにする。③「地域清掃」「地域防災訓練」等の活動を通して、まちの一員として自分ができることを考え、実践できる力を育てる。
豊かな人間関係 (多文化共生)	①日本人児童と外国人児童が共に学ぶ学校として多文化共生教育を推進し積極的に発信する。②つながる遊び、ワールドランチ、特設クラブ母語教室等を通して、国や文化の違いを受け止め、価値観や背景の異なる相手ともコミュニケーションを図り、共に生きていく力を育む。
いじめへの対応	①いじめが疑われる案件に関しては職員全員でアンテナを高くし関係機関とも連携して組織的に対応する。②アンケートや教育相談等で人間関係に起因する悩みを把握するとともに、全ての教育活動を通していじめ防止や生命尊重について指導していく。
人材育成・ 組織運営 (働き方改革)	①メンターチーム研修を通して経験の浅い教員の人材育成を充実させる。②校内研修を活性化し主体的に学校づくりに参画する意識を高める③年次研修受講者を中心に改革推進委員会を組織し働きやすい職場づくりを進める。